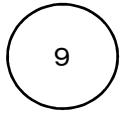


令和 7 年度 学校評価書 ( 計画段階 )

福岡県立 小倉南 高等学校 定時制課程



<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割を目指すべき学校像)</p>	<p>誰でも働きながら希望に合った学びが実現できる夜間定時制高校 多様な生徒が基礎基本から学び直すことができる環境を提供することで、卒業後に活用できる基礎学力の定着を図り、社会に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<p>○自ら考え、適切に行動する能力 ○他者と信頼関係を築き協働する力 ○確かな学力</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<p>○多様な教育ニーズにきめ細やかに対応した面倒見の良い指導 ○特別支援教育の視点に立ったキャリア教育 ○ICT等を活用した分かる授業の実践</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<p>○仕事と学業の両立ができる人 ○地域や社会に貢献できる人 ○夢の実現に向け努力できる人</p>

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>教育基本法及び福岡県の教育目標に則り、「働きながら学ぶ夜学の生徒を中心に、生徒の未来と希望を育み、夢を実現できる学校づくりを推進する」ことを学校運営の根幹として、定時制としての教育活動を展開していく。また、キャリア教育の更なる充実を図り、社会を構成する有為な人材になる志を持って意欲的に学び、他者と信頼関係を築き協働できるたくましい人物を育成する。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>昨年度は、校長のリーダーシップのもとチーム小倉南として、「キャリア教育の更なる充実を図り、他者と信頼関係を築き協働できるたくましい人材を育成する」という運営方針のもと、充実した教育活動を展開することができ進路実績も大きく向上した。 本年度は、生徒の自己肯定感を醸成して集団への帰属意識を向上させ、問題発見・問題解決能力やコミュニケーション能力の向上を目指す。 また、教職員が働きやすい「心理的安全性が高い」職場環境づくりを推進する。</p>	<p>授業規律の確立と丁寧な分かりやすい授業を展開することで確かな学力を育成し、生徒の進路実現につなげる。</p>	<p>登下校指導・授業中の巡回指導、学習態度や遅刻欠席等のきめ細かな継続的指導により、学習環境を整え、確かな学力の育成を図る。</p>	
	<p>規範意識を向上させ、安心・安全な学校生活を実現する。また、生徒と信頼でつながる人間関係の構築に努める。</p>	<p>規範意識を高めるため、関係諸機関との連携を図り、防犯教育、性教育、薬物乱用防止教育などモラルを向上させる指導をより一層強化する。</p>	
	<p>ICT等を活用した分かる授業の実践、生徒主体の学校行事、部活動の活性化等による魅力ある学校づくりを行う。</p>	<p>Chromebookを活用して生徒が積極的に参加できる授業を行う。また体育大会や文化発表会等の学校行事を通して、生徒の自治意識を涵養する。</p>	
	<p>特別支援教育の視点に立ったキャリア教育を進め、個々の生徒が適切な進路選択ができるようにする。</p>	<p>進路指導主事・特別支援コーディネーター・担任等でチームを構成し、生徒個々の実態を把握したきめ細かな指導を行い、適切な進路選択を支える。</p>	
	<p>多様な生徒への指導力・教育相談力のスキルアップを図るための研修を充実させる。</p>	<p>特別支援教育・性教育・薬物乱用防止教育など本校が抱える課題に対してスクールカウンセラーや外部機関と連携した職員研修を行う。</p>	
<p>いじめアンケートや個人面談・家庭訪問等を通して、いじめ見逃しゼロを推進する。また、暴力、差別は絶対に許さないという心の教育及び人権感覚の育成を図る。</p>	<p>いじめアンケートだけでなく、定期的な面談や授業・行事などにおいて、全職員で生徒を見守り、変化があった場合は、いじめ防止対策委員会で対応を協議し、学校全体でチーム小倉南として解決にあたる。</p>		

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務	ICTの活用、ALの推進をさらに充実させ、基礎学力の定着・向上を図る。	各教員のICT、ALに関する資質・能力の向上を図る研修を実施する。	・授業アンケート	
		他部署と連携し生徒理解に努め、本校生徒の実態に即したALの実践に取り組む。		
	授業規律の徹底、学習環境の整備の推進を図る。	ICT支援員等を積極的に活用し、生徒に寄り添い、主体的に授業に取り組む姿勢を育む。	・学校生活アンケート	
		授業規律に関する研修を適時実施し、教員間の共通理解を徹底する。		
生徒指導	生徒が安心・安全に学校生活を送ることができる環境づくりを行う。	科目間の授業時数の偏りを調整するとともに授業時数の確保に努める。	・いじめ・学校生活アンケート	
		アンケートを通して実態を把握し、授業改善や学習環境整備を図る。		
	生徒の主体性や規範意識を高める。	生徒の行動観察を行い、問題行動の未然防止や生徒支援に努める。	・規範意識育成学習の講演後の感想文およびアンケート	
		授業時、校内の巡視を行い、生徒の授業参加や授業規律の順守を促す。		
進路指導	キャリア教育の充実を図る。	校外や家庭で起こった問題解決のために、積極的に外部機関との連携を図る。	・「進路ガイダンス振り返りシート」 ・「キャリアパスポート」 ・「進路講演会(1、2年生)アンケート」	
		講演会や集会での講話を通し、生徒に行動の善し悪しについて考えさせる。		
	進路意識を早期に持たせ、生徒の確実な進路実現につなげる。	生徒会活動や学校行事を充実させ、生徒の主体性や規範意識を高める。	・「個人面談・家庭訪問」 ・「最終学年進路希望調査」 ・「資格取得一覧」	
		全職員が共通認識を持って、統一的な指導を粘り強く行う。		
保健	生徒がより健康で安全に生活を送ることができるようにする。	各学年に進路対策講座を実施し、進路を意識した高校生活を送らせる。	・「薬物乱用防止教室後の感想文」 ・「研修会後のアンケート」	
		社会に必要な能力を理解させ、学力を高めるため授業を大切にさせる。		
	生徒が「食」に関心をもち、自分で調理する契機となるように働きかける。	正社員の意義を理解させ、将来を見越した進路設計を助言する。	・「給食アンケート」	
		家庭訪問や個人面談で、個々の進路意識の向上を図る。		
研修	教職員の研修ニーズを把握し、指導力向上のための効果的な研修を実施する。	就職・進学最新の情報を随時発信し、必要な知識や技能を共有する。	・研修調査アンケート	
		資格取得や奨学金を意識させ、進路実現の可能性を高める。		
	ICTを活用し、生徒が分かりやすい授業を行うために授業力を培う研修を実施する。	生徒が自分自身を肯定し、将来に希望や勇気をもてるような講演会を実施する。	・授業アンケート	
		緊急時に適切な対応ができるよう、他部会と連携し緊急時対応訓練を実施する。		
庶務	学校HPやSNS等を活用して、保護者や地域へ情報を発信する。	生徒理解を深め、適切な生徒対応ができるよう、職員研修を実施する。	・体験入学参加者アンケート	
		「食」に興味をもつことができるように当日の給食メニューを掲示板・SNS等で知らせる。		
	職員間の連携を強化するとともに、生徒の意見を反映した行事を企画する。	調理することに興味をもてるように給食レシピをHPやSNSに分かりやすく掲載する。	・行事反省(教員用、生徒用)	
		調理する意欲がわくように、他者の調理体験を掲示板やSNSで紹介する。		